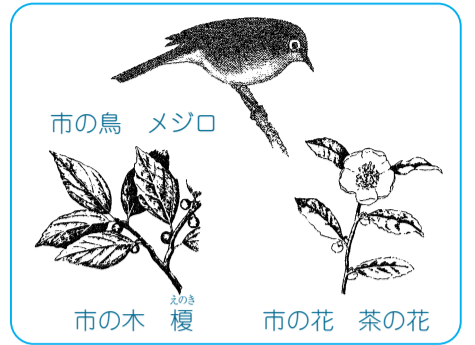


まがいたより



発行/武蔵村山市議会 〒208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 ☎042-565-1111

ホームページ <http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/gikai>
メールアドレス gikai@city.musashimurayama.tokyo.jp



梅雨の晴れ間の運動会

平成23年 第1回定例会 第1回臨時会

平成23年度 各会計予算を可決 新議員による新役職決まる

第1回定例会の概要

平成23年第1回定例会は、2月25日から3月25日までの9日間の会期で開かれました。
この定例会では、今回提出された市長提出議案29件、委員提出議案1件、議員提出議案5件、その他5件、陳情・請願4件、継続となっていた陳情1件が審議・審査されました。また、17人の議員が57項目について一般質問を行いました。

可決された平成23年度会計別当初予算

会計名	平成23年度	平成22年度	比較増減
一般会計	266億5,216万4千円	247億9,836万1千円	7.5%
特別会計	145億449万6千円	139億8,969万1千円	3.7%
国民健康保険事業	80億1,914万8千円	76億1,801万6千円	5.3%
下水道事業	14億8,859万7千円	15億1,058万8千円	△1.5%
老人保健		151万円	
介護保険	33億6,533万3千円	35億8,502万9千円	△6.1%
都市核地区土地 区画整理事業	8億580万6千円	4億8,074万2千円	67.6%
後期高齢者医療	8億2,561万2千円	7億9,380万6千円	4.0%
合計	411億5,666万円	387億8,805万2千円	6.1%

第1回臨時会の概要

平成23年第1回臨時会は、5月16日に開かれました。この臨時会では、市長提出議案6件、議員提出議案5件、その他12件について審議・審査されました。

議会日誌

日(月)	日(金)	日(木)	日(水)	日(火)	日(月)
31日(月)	28日(金)	27日(木)	26日(水)	17日(火)	11日(火)
連合議会定例会	東京たまた広域資源循環組合 議会定例会	瑞穂斎場組合行政視察 第1回市議会定例会本会議 (初日)	瑞穂斎場組合行政視察 第1回市議会定例会本会議	瑞穂斎場組合行政視察 第1回市議会定例会本会議	瑞穂斎場組合行政視察 第1回市議会定例会本会議

日(火)	日(月)	日(水)	日(金)	日(金)	日(金)	日(火)	日(火)	日(水)	日(木)	日(木)	日(金)	日(金)	日(火)	日(火)	日(水)	日(水)
31日(火)	30日(月)	23日(水)	18日(金)	16日(金)	13日(金)	6日(火)	25日(火)	22日(火)	18日(水)	16日(水)	14日(金)	11日(金)	10日(木)	9日(木)	7日(月)	4日(金)
議会臨時会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会総会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第2委員会 三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第3委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会	三多摩上下水及び道路建設 促進協議会第1委員会

東日本大震災により年間を通じて再生紙が供給できません。そのため上質紙を使用しています。

一般質問

掲載されている内容は、通告に対する当初の答弁であり、この後の再質問等の詳細については、会議録等をご覧ください。



田代 芳久 (新政会)

問 モノレール早期延伸活動について

①看板やイメージキャラクター等を作製し、市内すべての行事でPRをして、市民の思いを一つにした活動をすべきでは。②早期延伸活動に寄附金を募る考えは。

①平成23年度は、早期延伸を掲げた看板設置と、PR用バッジを作製し、早期延伸のPR活動に務めていく。②現在、「武蔵村山ふるさと寄附」により、寄附をいただいている。

問 市内循環バスについて

平成22年3月議会的一般質問で運賃をワンコインで1年間限定試行し、

結果によっては見直すべきと質問したが、その後の検討を伺う。
①平成23年度の早期実施に向け、関係機関と協議を進めており、その運行結果を踏まえ、改善に取り組んでいきたい。

問 子ども手当について

子ども手当の財源負担を拒否する市が多くなっているが、我が市の考えを伺う。

①平成23年度の予算編成は、前年度と同様、児童手当相当額に係る都及び市の負担相当額を差し引いた額を国庫負担金として歳入計上している。



吉田 篤 (公明党)

問 公園の整備について

①トイレに乳児のおむつ交換ができる場所を設置できないか。②砂場に柵を設置して犬の進入を防ぎ、衛生向上を図るべきでは。③公園に隣接する住宅や畑に伸びている植木の対応を伺う。

①現在、新大南運動広場及び横田児童遊園に設置しており、その他の公園等は、利用実態等踏まえ、トイレの改修時期等に合わせ検討していきたい。②市内の公園等は年1回糞便性大腸菌検査し、消毒等を行っているが、柵の設置は、犬の侵入を防ぐ有効策と考えられるが、幼児等の安全面から、現在、設置する予定はない。③樹木の剪定は、定期的の実施し、要望・苦情があった場合は、現状を確認し、対応を図っている。

問 原山地域運動場の整備について

①運動場内からの雨水が住宅に面した道路に流れ出る現状に、市の対応を伺う。②運動場内からボールが飛び出し、大変危険である。フェンスを高くし、防ぐべきでは。

①青梅街道水道事務所南交差点に感応式信号を設置すべきでは。②村山医療センター北交差点に、中砂新道から新青梅街道へ進入する際の右折専用信号を設置できないか。

問 信号機の改善について

①東大和警察署に対し、車両感応式信号機への改良を要望している。

②信号機の改良は、新青梅街道全体の交通管制の中で警視庁により可否が判断されるため、機会を捉えて東大和警察署に要望をしていく。

問 防犯灯について

蛍光灯の球切れによる交換の際にカバーケースの掃除や古いものは交換すべきだが、現状の管理はどのようになっているか伺う。

①年2回の保守点検時や市民等からの連絡により、器具や蛍光灯の交換、修理及び清掃を実施している。



高橋 薫 (公明党)

問 今後の道路整備計画について

狭い歩道（幅員2メートル以下）や狭隘道路（大型車通行不可）の今後の拡幅整備計画と、慢性的な交通渋滞の緩和のための今後の交差点改良計画について伺う。

①地域の実情などを把握し、実施計画等に基づき、計画的に整備していきたい。

問 道路等の安全対策について

①街路灯・防犯灯の設置基準と、高輝度・省電力電球への切りかえは。②カーブミラーの設置基準は。③街路樹（高木・低木）の高さ基準は。

①②③国等の交通安全施設に関する設計基準や本市の防犯灯等及び道路反射鏡の設置及び管理基準に基づき設置している。また、高輝度・省電力電球は、性能面やコスト面などの課題もあることから、防犯灯の切り替えは、引き続き検討していきたい。③東京都の道路工事設計基準により、3m以上が高木、1m以下が低木に区分されている。

問 私道の市への移管について

複数の居住者が利用する私道において、関係者全員の同意を得ることが困難なため、雨水対策や舗装改修も難しく、市に移管して公道にする施策がとれないか。

①武蔵村山市道路の認定等及び道路の区域変更等に関する取扱規則に基づき、一定の要件を満たした場合、市道として管理している。

問 保育所の入所について

①4月1日時点での待機児童数見込み。②入所基準について。③就労

実態の確認方法。④就活のための一時入所について。⑤保育料の滞納状況。

①平成23年4月1日時点での待機児童の見込みは、2月15日現在で、1歳児17人、2歳児20人、3歳児20人、計57人である。②保育の実施に関する条例施行規則に基づき、父母の就労等の状況を指数化し、選考を行っている。③就労証明書等の提出を求めている。④おおむね1週間に2日程度、市内の4つの保育所で、一時預り事業を実施している。⑤平成23年2月15日現在で1月分までの現年度分の滞納状況は、約1千300万円となっている。



波多野 征敏 (新政会)

問 小、中学校の冷房設備の設置について

①普通教室の冷房設備設置の計画と完了年度を伺う。②この財源内訳を伺う。

①平成23、24年度に実施する計画である。②国庫負担金、都補助金、起債、公共施設建設基金等を予定している。

問 モノレール延伸の取り組みについて

①新年度からのモノレール延伸の施策は、どのようなものか伺う。②（仮称）モノレール対策室の設置やプロジェクトグループの立ち上げと配置が考えられるか伺う。

①平成23年度から、「多摩都市モノレール基金」を設置し、早期延伸を掲げた看板の設置やPR用バッジの作製により、PR活動を行うとともに、関係市町や市民と連携し、促進活動に努めていく。②平成23年

度、副市長をトップに推進組織を設置するほか、都市整備部多摩都市モノレール推進担当の職員体制を充実し、取り組みを推進していきたい。

問 地域スポーツクラブについて

①国民体育大会が東京で開催されるが、我が市での取り組みは。②各自治会にスポーツクラブは存在するか。③体育協会を構成するスポーツ団体の数とメンバー数は。

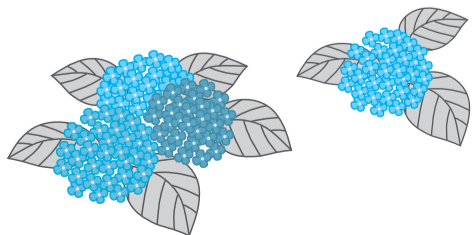
①平成23年度実行委員会設立に向けて準備を進めている。②54自治会中30自治会で、グラウンドゴルフやソフトボールなどのスポーツクラブに該当するような活動を行っている。③21団体で、各団体の構成員の合計は、約4千人と聞いている。

問 子育て支援について

①保育所待機児ゼロを目標とする施策を考えているか伺う。②来年度に保育所待機児となる乳幼児の予測はどのようなものか伺う。

①低年齢児を対象とした30人規模の民間保育所分園が、平成23年4月1日に開所し、他に民間保育所定員枠が、4月1日から28人拡大する。また、乳幼児を保育する家庭的保育事業並びに東京都が認証した認証保育所の開設を予定している。②2月15日現在で、1歳児17人、2歳児20人、3歳児20人、計57人である。

いくつ入ったかな？





川島 利男 (新国会)

問 ライトレールについて

市の東西交通路線としてモノレールが計画されているが、想定される市内の駅から武蔵砂川駅とJR立川駅を結ぶ南北交通路線をライトレールでつなぐ計画はできないか伺う。

答 多摩都市モノレールの早期延伸を最重要施策として取り組んでおり、多摩都市モノレールの利用者への影響、導入空間の基盤整備など、多くの課題があると考えている。

問 資源回収奨励金について

福祉団体では、自助努力としてアルミ空き缶や古新聞の資源回収を行っているが、奨励金を見直すことはできないか伺う。

答 平成21年度は、交付対象団体は55団体、申請件数は271件、交付総額は約570万円で、現在、この奨励金の見直しは考えていない。



榎山 敏夫 (日本共産党)

問 ヘリコプター飛行の経路・高度測定の結果について

昨年11月に立川飛行場航空機の飛行経路と高度の測定が実施された。立川市と防衛省が交わした協定に遵守した飛行実態となっているのか。また、今後の対応について伺う。

答 飛行経路は、昭和57年に立川市と東京防衛施設局との間で交わした事前協議の内容に概ね沿って飛行していると考えている。飛行高度は、事前協議で取り決めた高度より低空

で飛行しているヘリコプターが確認されており、陸上自衛隊立川駐屯地に対し、協議事項を遵守するよう要請している。また、警視庁及び東京消防庁に対しても、事前協議に準じた飛行を要請していきたい。

問 住宅改修助成制度について

12月議会にて住宅改修助成制度の創設を求める陳情が採択された。市は現存する助成制度を一本化する研究をする。答 昇した。経済効果のある新たな施策を実施すべきではないか。

答 木造住宅耐震改修助成金や住宅用資金融資あっせんなどの制度があるが、一本化した制度については、今後、研究していきたい。

問 保育待機児の解消について

保育所に入所できないとの声が多く寄せられている。一定の改善はあるが、待機児解消にはほど遠い状況だ。新年度の待機児数の見通しと待機児ゼロに向けた施策を伺う。

答 平成23年度4月1日時点での待機児数の見込みは、2月15日現在で1歳児17人、2歳児20人、3歳児20人、計57人である。待機児ゼロを目指した取り組みは、低年齢児を対象とした30人規模の民間保育所分園が、平成23年4月1日に開所し、他に民間保育所定員枠を4月1日から28人拡大する。また、乳幼児を保育する「家庭的保育事業」、東京都が認証した「認証保育所」の開設を予定している。

問 玉川上水駅の駐車場対策について

駐車場からあふれた自転車、階段入口や道路に駐車し、歩行者にとっても大変危険な状態となっている。新たな駐車場確保などの対策が必要ではないか。今後の対応策を伺う。

答 立川市、東大和市と協議・調整を図り、西武鉄道株式会社及び多摩都市モノレール株式会社に対して、要望等を行っているほか、自転車整

理員を配置するなどの対応を図っており、今後も自転車駐車場確保について、関係市と連携を図り対応していく。



天目石 要一郎 (清流)

問 温泉施設がたくりの湯について

①施設内の監視カメラの台数と設置場所は。②売り上げや資材の管理体制と市のチェックは。③今年度の来場者数と利益の、指定管理者の当初の事業計画との比較は。

答 ①事務室内に1台設置されている。②売上管理は、ジャーナルと売上額を照合し、資材は、棚卸を実施し在庫管理を行っていることである。市では平成22年7月にモニタリングを実施したほか、随時調査し指導・助言を行っている。③当初事業計画では約27万5千円で今年度は約20万7千円程度となる見込みのことである。収益の比較は、当初事業計画では約5千円で、今年度は、来場者数の減に伴い収益を見込むことは困難な状況にあると考えられる。

問 第一中学校建てかえ工事について

①元請は建設業退職金共済への積立金を払っているのか。②元請は現場で働いている人に確実に建設業退職金共済の証紙を渡しているか。③元請の法令遵守について問題点はな

いか。答 ①②③の工事の契約業者に聞いたところ、共済証紙の購入等の準備は行っているが、現時点では、共済証紙は使用していないとのことであり、市は、本共済制度の加入業者へ下請工事を発注した場合、法令に

基づき確実に事務処理するよう指導している。③いずれの業者も法令を遵守し工事を進めていると認識している。

問 小中一貫校の児童・生徒について

①学区外から通学している児童・生徒の町名ごとの人数は。②学区外から通学している児童・生徒の通学方法は。③来年度の学区外からの通学予定者数は。

答 ①1月31日現在で、緑が丘26人、大南34人、神明4人、中央2人、本町3人、学園35人、三ツ藤3人、榎1人、残堀4人、市外5人、合計117人である。②2月10日現在で、自転車通学の許可を与えている人数は2人で、その他は徒歩で通学している。③2月10日現在で、143人である。



高山 晃一 (新国会)

問 学校施設の夏対策について

①学校の冷房化等を初め、さまざまな暑さ対策が必要と思うが市の考えを伺う。②学校の水道を貯水槽経由の給水方式から直結給水方式にできないか伺う。

答 ①普通教室の冷房化、校庭の芝生化や校舎内へのウォータークーラーの設置等の計画である。②平成19年度から直接給水方式に改修しているところであり、平成25年度までに全校完了する計画である。

問 デエダラまつりと農業まつりの開催時期について

デエダラまつりと農業まつりの開催時期を分けて開催し、各事業をより内容の濃いものにしていく必要があると思うが考えを伺う。答 第1回村山デエダラまつりで開

催し、平成18年度は別の時期・会場で開催した。その後、農業まつり委員会から同時開催の要望が、市民まつり実行委員会にあり、19年度からは同時に開催してきた。開催時期は、野菜等の収穫期に合わせて開催したいという考えもあり、それぞれの委員会に意見を伝えていきたい。

問 中原地区の交通対策について

大型商業施設の出店に伴い、多くの車が中原地区の生活道路を通り抜けをし、地域住民が大変危険な思いをしているが市の考えを伺う。答 大型商業施設開店直後に交通警備員の配置や交通看板の設置について、施設設置者に要望し、対応いただいた経過がある。今後、中原地区の生活道路での交通事故発生を回避するため、大型商業施設に対し、改めて交通警備員の配置を要望していく。



善家 裕子 (清流)

問 葬祭業務委託の現状と改善策は

数十年間当業務は一人のみに委託を続けてきたが、最近葬祭事業者はふえ、市民ニーズも多様化している。瑞穂斎場組合にも加入した今、多くの市民がサービスを受けられるよう改善を。答 瑞穂斎場組合以降も、市民の希望により、お寺や自宅などで葬儀を執り行うこともあり、祭壇や葬儀に係る物品等が必要となり、低廉での貸出・販売は市民サービスの面で効果的であると考えている。

問 特別支援教育の充実について

全国的に小、中学校には特別な支

援を必要な子どもが6.3%の在籍といわれている。①市での取り組みの現状、問題点と改善点。②教職員研修事業充実等も含めて、今後の予算づけの見直しは。答 ①平成22年3月に、第二次武蔵村山市特別支援教育推進計画を策定し、当該計画に基づき本市の特別支援教育を推進している。問題点、改善点は、策定委員会で確認を行い、その推進計画に反映している。②特別教育コーディネーターや特別支援学級の担任を対象とした、特別支援教育研修などを実施し、予算は最少の経費で最大の効果を前提に事業を実施していく。

問 災害時のトイレ確保について

避難時のトイレ不足は高齢者等の命にかかわる。避難場所の学校にあらかじめ防災貯留型仮設トイレシステムや、市の施設の屋内には自販機併設簡易トイレ等民間の知恵を導入してはどうか。答 地域防災計画に基づく必要数41基に対し、備蓄数、仮設トイレ80基、ポータブル型の簡易トイレ780基であり、設置数は充足している。また、費用対効果を考えると、災害用貯留型仮設トイレ等の導入は難しいと考えている。





須藤 博 (民主党)

能力の高い職員の採用について

役所の職員は初任給が低く、退職金が高いが、給与構造の見直しと社会人経験者の採用を進めることで、能力の高い職員の獲得に努めるべきでは。

本市職員の給与は、毎年、東京都人事委員会勧告に準じて定められている。職員の採用は、本年度、年齢要件を30歳までに拡大し募集した。今後も、幅広い年齢層の優秀な人材を求めて募集していきたい。

生涯学習活動への部屋の貸し出し業務について

生涯学習活動等のために会議室等の部屋を借りる場合の、貸し出し業務の運用について伺う。①申し込み方法と問題点。②施設によって対応が異なる理由。③職員の配置方針。

①使用日の2か月前の月の初日から使用日の前日までの間に、使用する施設に直接の申し込みとなっている。問題点は特に認識していない。②受付方法は、基本的な部分は各施設によって対応が異なることではないと考えている。③各施設とも正規職員の配置はなく、3名の嘱託員が交代で勤務する体制となっている。

会議の傍聴者に資料を

市の主催する会議の傍聴者に資料が配付されないが、見直しが必要では。

武蔵村山市付属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に基づき、会議の議題を記載した会議次第

を配布している。



大原 明彦 (政和会)

農業振興について

①都市農業としての具体的な振興策は考えているか。②農地の転用、休耕地の割合は。③農業法人の活用は考えているか。④非農業従事者の就業支援は。

①農業経営者に対し軟弱野菜等の栽培に必要な保温材等の購入費の補助等を行っている。さらに、新たに認定農業者に対する補助制度を創設するほか、労働力不足を解消するため、援農ボランティアの育成を図り、その活用体制整備に努めていきたい。②平成22年中に67件、3万4千281㎡の農地が転用された。休耕地は約1haで農地面積約214haに対し、割合は約0.5%となっている。③④新規就農を希望する人が農業に参入しやすくなるよう、農協等の関係団体の協力を得て、その育成に努めていく。なお、農業振興施策は、第2次農業振興計画に基づき推進していく。

学校図書館の利用について

①各校の蔵書の実態について。②市立図書館との連携について。③古い蔵書の割合が高いが、今後の予定について。④CD、DVDなどの電子メディアの利用について。

①本市は、文部科学省の学校図書館図書標準を満たしている。②市内の全校に学校司書を配置し、月1回の学校司書連絡会を開催し、図書館職員を講師として、学校図書館運営に関する相談及び資料紹介等を行っている。③毎年度、購入、廃棄を計画的に行っている。④学校図書館の機能のあり方等を踏まえ、引き続き

武蔵村山病院について

①看護師、医師の人数は。②事務職員を含む勤務体制は。③今後の医療体制や経営についての市の考えは。

①平成23年2月1日現在の医師の総数は常勤・非常勤合わせて76人、看護師の総数は常勤・非常勤合わせて249人となっていること。②医師は日勤と当直勤務があり、看護師は日勤・準夜勤務・深夜勤務の3交代制、事務職員は日勤のみとなっていることである。③経営状況は順調であると聞いている。また、二次救急医療を含めた診療科目は、引き続き継続するよう要望していく。



沖野 清子 (公明党)

小児用肺炎球菌ワクチンに公費助成を

子どもの生命を守る小児用肺炎球菌ワクチンに公費助成を望むが、市の対応を伺う。

生後2か月から5歳未満の乳幼児を対象に、新年度から保護者負担軽減のため、ワクチン接種費用の9割を助成していきたい。

ヒト白血ウイルス型(HTLV-1)母子感染予防対策について

①妊婦健康項目に追加を望むが市の考えを伺う。②母子感染についての保健指導やカウンセリング体制の整備について伺う。

①平成23年度から、妊婦健康検査項目に(HTLV-1)抗体検査を追加し対応を図っていく。②東京都による妊婦健康診査実施体制等に関する事務担当者説明会、及びHTLV-1感染予防に関する専門職向け研修会

の開催予定であり、この説明会等踏まえ、相談体制等を検討していきたい。

保育所待機児童の取り組みについて

保育所の待機児童の解消のために家庭福祉員制度(保育ママ)の導入について市の考えを伺う。

家庭福祉員制度は、都の制度であり、平成22年11月に制度が改正され家庭的保育事業となり、平成23年度中に導入していきたいと考えている。

小、中学生の健康な歯を守るための対策について

①小、中学生の虫歯の状況について伺う。②虫歯予防対策について市の考えを伺う。

①小学校のう歯の未措置者の率は36.15%、中学校で32.87%となっている。②各学校の予防対策の共有化、改善率の提示など、う歯の被害者との連携が重要ととらえ、歯科検診の結果を家庭に通知するなど、連携の強化を図れるよう、学校を支援していく。



高橋 弘志 (公明党)

小、中学校の給食費未納状況について

小、中学生の保護者の方から、給食費の未納者が多いため、何とかしてもらいたいとの声があるが、未納状況と今後の対応について伺う。

平成21年度決算における収納状況は、98.54%となっている。未納者に対し文書や訪問等により収納に努力していきたい。

市内循環バスのワンコイン化について

市民が利用しやすいバスの充実を考えた場合、ワンコイン化は実施す

べき取り組みであると考えている。実施の具体的計画について伺う。

高齢者福祉施設整備の進捗状況について

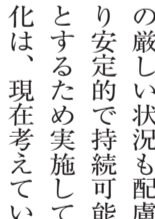
平成23年度に計画をしている高齢者福祉施設の整備について進捗状況を伺う。

市内の北部エリアに地域包括センターを設置し、平成24年度から運営を予定している。また、平成24年度から第5期介護保険事業計画に広域型特別養護老人ホームの整備を記載し、平成25年度中に、広域型特別養護老人ホーム(定員120人程度)の運営が予定されている。

子ども医療費助成制度の拡充について

中学3年生までの医療費について、所得制限及び自己負担200円をなくし、完全無料化できないか市の対応を伺う。

相互扶助の考えや小児医療現場の厳しい状況も配慮し、将来にわたる安定的で持続可能な医療助成制度とするため実施しており、完全無料化は、現在考えていない。



竹原 キヨミ (日本共産党)

クーラー設置について

小、中学校のクーラー設置について23年度実施計画で全校整備を2年間で実現する方針が示された。いつ、どこから、工事概要、市内発注などについて伺いたい。

平成23、24年度の2か年で実施する計画である。工事概要は、平成23

年度に14校のうち7校実施し、中学校を優先し、小学校は、開校年次の古い順に実施する。また、工事の発注方法等は、契約担当部署と協議していく。

医療費無料化について

①子どもの医療費の完全無料化について伺う。②国保の一部負担金の減免等の要綱について利用状況と周知について伺う。

①相互扶助の考えや小児医療現場の厳しい状況も配慮し、将来にわたる安定的で持続可能な医療助成制度とするため実施しており、完全無料化は、現在考えていない。②過去5年間の実績はない。また、市民への周知は、平成22年11月1日号の市報及びホームページに掲載した。

税金について

①滞納金の支払いは本税を優先にできないか。滞納金の免除も可能と思うが。②給与差し押さえを実施しているが、憲法第25条を最低基準にすべきでは。

①古いものから順に本税及びこれに係る滞納金に充てている。また、滞納金の免除等は、地方税法並びに市税賦課徴収条例施行規則の規定に基づき、減免事由に該当したものである。②国税徴収法第76条第1項各号の規定に基づき、実施している。

ワクチン接種費用の無料化を

ワクチンの接種率は低いと聞く。子どもの健康づくりの支援のため、次のワクチンの無料化について伺う。

①子宮頸がんワクチン。②ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン。

①②現在、市は子宮頸がんワクチンとヒブワクチンの接種費用の一部助成を行っている。平成23年度から、これに小児肺炎球菌ワクチンを加え、これらの接種費用の9割を助成していきたい。

問 大南公園の整備について

グランドゴルフコースの切り株で転倒が多いと聞く。また、園路で転倒しけがをした高齢者もいる。早急な整備を行い、安全第一の公園を目指していただきたいが市の対応を伺う。

答 平成23年度実施計画の中で、24年度に園路改修工事を行う予定である。



濱浦 雪代 (公明党)

問 高齢者支援について

地域包括支援センターにおける支援体制の拡充について。

答 介護保険制度にとどまらず、高齢者生活支援ヘルパーの現行制度内での柔軟な利用の検討など、包括的かつ効率的な介護予防ケアマネジメントの援助を行い、高齢者が自立した生活が送れるよう支援を行っている。また、平成23年度には、(仮称)高齢者見守り相談室を設置し、情報を地域包括センターと共有し、24時間365日の安心を確保するための一体的な見守り支援を推進していく。

問 都営村山団地再生計画について

①中期第4期1・2以降の計画について。②商店街、公共施設について。③空地活用について。

答 ①～③現在、第4期の2地区の建てかえ事業が実施されている。また、昨年11月に東京都から第4期の3地区の建てかえ事業について連絡があったが、その後説明を受けていないことから、今後、都の考え方を聞きながら、対応していきたい。

問 歩行者の安全対策について

①村山団地西通り、1101号棟

から1104号棟までの西側に手押し式信号機設置について。②車いす対応の歩道に向けた整備計画について。

答 ①東大和警察署に要望を行っているが、周辺の横断歩道等の状況により、信号機の新設は難しいとのことであり、今後も、信号機及び横断歩道の設置を要望していく。②市道の新設・改良の際には、可能な限りバリアフリー法などに基づき、歩道等を整備している。



金井 治夫 (新政会)

問 多摩開墾農道の計画的整備について

①農道の総延長と一括砂利敷き整備費用の予測について。②農業者からの要望実態について。③農道の計画的整備と区画整理による農地の集約について。

答 ①②多摩開墾内の市道総延長は約9千500mで、砂利敷きで一括整備した場合、約4千6百万円の費用が見込まれる。農業者からの要望はな

問 人と人との絆について

①市長が理念とする人と人との絆が希薄となった原因について。②人と人との絆を回復、充実させる具体的な取り組みについて。③行政と地域・市民との絆について。

答 ①～③家族形態の変化や少子化の進行、価値観の多様化などにより希薄になっているといわれ、自治会の加入世帯も減少している状況にある。市では、昨年10月に武蔵村山市

地域コミュニティ活性化検討委員会を設置し、地域で支えあっていく地域社会づくりに向けた方策を検討している。また、市民と市長のタウンミーティングを実施するなど、共に支え合い、安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを推進していきたい。



宮崎 起志 (公明党)

問 モノレールの延伸について

①新青梅街道拡幅の地元説明会開催後の動きと現状、今後の計画について伺う。②モノレール基金の設置目的と積立計画について伺う。

答 ①上北台駅付近から市立第三中学校付近までの約1.1kmの測量が実施されている。東京都では、平成23年度から用地取得に着手する計画となっている。②延伸の際に必要となる資金を、計画的に積み立てるため設置する。今後10年間で10億円の積み立てを目指していきたい。

問 小、中学校普通教室への冷房機設置について

①急遽、実施することになった経緯について伺う。②整備計画等、今後の予定を伺う。

答 ①東京都が平成22年12月下旬に、小、中学校に冷房設備を設置する市町村に対して、22年度から24年度までの3か年で、財政支援を行う予算原案を発表したことから、実施することとした。②平成23、24年度に実施する計画である。

問 まちづくりについて

次の3点について伺う。①まちづくり条例策定の進捗状況は。②都市核地区土地区画整理事業の進捗状況と今後の計画。③日産自動車跡地D1エリアに係る宗教法人との交渉について。

答 ①昨年12月に、まちづくり条例策定委員会から、条例に規定すべき事項の報告書を受けた。現在、平成23年度中の施行を目指し、条例素案の策定作業を進めている。②道路築造延長で約20%、事業ベースで約15%の見込みである。今後、道路・公園等の公共施設を順次整備し、平成31年度末の完了に向けて、事業を推進していく。③立川市及び宗教法人等と協議を進めており、合わせてD1エリアも、宗教法人と協議している。

討 論 (要 旨)

平成23年度各会計予算は2月25日市長から提案されました。議会は委員17人で構成する予算特別委員会(高山晃一委員長)に付託し、3月9日から3月14日までの4日間の審査を経て、3月25日の本会議で原案どおり可決されました。その際、議会の採決に先立って行われた一般会計予算についての討論の要旨をお知らせします。

反 対 討 論

竹 原 キヨミ (共産党)

共産党市議団を代表して23年度予算に反対討論を行う。

市民生活は、不況と雇用不安で深刻な状況に追い込まれている。23年度予算に市民は何を望んでいるか。共産党市議団のアンケートを通じて寄せられた願いでは、暮らしの応援と福祉の充実、子育て支援を望む声ばかりである。

予算は、市民の要望を積極的に取り入れ、普通教室の冷房化、雨水排水工事、生活道路改修、緑が丘出張所拡充、特別養護老人ホーム設置、ヒブワクチン、小児肺炎球菌、子宮頸がんの各予防接種を1割負担に軽減したこと、第二学童クラブの建てかえ、国民健康保険の低所得者の軽減など、市民要求を実現させた予算編成となっており評価したい。

一方、横田基地の軍民共用使用は騒音の拡大となる。下水道使用料の改定は市民生活を圧迫する。保育園待機児が4月1日で、80人弱見込まれる。国民健康保険は国からの財源を求め一般会計から繰り入れて、税の引き下げを。緊急通報システムの

有償化など福祉の後退は「住民の福祉を守る」自治体の原点に反するなど指摘しておきたい。

また、市民負担を強める第五次行政改革大綱案は認められない。東日本大震災は救援と、まちづくりの再点検をも求めている。公共施設、住宅などの耐震化。医療・介護・福祉・子育て支援など連携の在り方。省エネルギー対策も市庁舎や公共施設すべてに太陽光など自然エネルギーへの転換を行い「防災・省エネルギーのまちづくり」に向かうこと。

最後に介護保険は、介護給付費準備基金の蓄え3億円余りを活用し、保険料の引き下げを求める。以上、反対の討論とする。



賛成討論

善家 裕子

(清流)

清流を代表して賛成討論を行う。大震災の被害に遭われた皆様によりお見舞いを申し上げます。

市民の中には、東北地方出身の方も多くすでに市内には縁故疎開受け入れが始まっている。その方々の健康、生活、就労、介護、教育等、できる限りの支援を行ってまいりたい。

さて、今年度は特別会計も含め、約41億5千600万円。本市、過去最大の額。新事業として、E・oneグランプリや多摩都市モノレール基金設立等、新市長の政治姿勢が出てい

るが実現するためには、これまで以上に無駄を排しガラス張りの行政運営を行うことである。まず、入札改革を。ようやく電子入札開始であるが、新市長になったのだから疑惑を持たれる入札が横行することのないよう、徹底していただきたい。現在、一部の入札でしか予定価格の事後公表をしていないことと、最低制限価格は非公表であるが、これらの全面公表を要望するものである。

また、一般競争入札は全く導入されてないが、指名競争入札と随意契約は癒着の温床となりかねない。一般競争入札導入により地元受注がで

きなくなる心配もあるが、入札参加基準をしっかりと取ることである。政治家の圧力による官製談合、業界による業界談合、いずれもツケを払わ

のますます厳しくなるであろう。一例として少額ではあるが、交際費、食糧費について。先月末、小・中学校卒業式では、飲食は一切なくも簡素で心のこもった素晴らしい式であった。このことは、これまでの交際費、飲食費のあり方を考えるとヒントになると思う。

市民からの信頼を得てこそ市長の政治テーマである「絆」が生まれる。社会全体が数年での再復活は厳しいと考

えての新たな一歩が始まる。行政は、しっかりと判断し、決断し市政に取り組んでいただきたい。例年

にない展開であるが賛成討論とする。まず、初めに、東日本大震災で被災に遭われた皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

我が国の経済は環境の厳しさが増し、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況であり、市政にお

いても、雇用情勢の厳しさに伴う個人市民税の大幅な減収が見込まれ

高橋 弘志 (公明党)

平成23年度、武蔵村山市一般会計予算について、公明党市議団を代表し、賛成の立場から討論を行う。

まず、初めに、東日本大震災で被災に遭われた皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

我が国の経済は環境の厳しさが増し、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況であり、市政にお

いても、雇用情勢の厳しさに伴う個人市民税の大幅な減収が見込まれ

川島 利男 (新政会)

3月11日に起きた東日本巨大地震と長野県北部地震、我が市と姉妹都市の栄村の皆様にお見舞い申し上げます。

新政会を代表して平成23年度一般会計予算について賛成の立場で討論を行う。

我が国の景気も緩やかな回復に向かっているとはいえ、本市の財政状

況は歳入の根幹をなす市税より、扶助費が年々増加傾向にあり、全国的に少子高齢化が財政需要を高める要

1ル基金積み立てを1千万円、10年で10億円の目標としている。市民も一日も早くモノレールが引けることを願っている。

武蔵村山市の地域活性化も鉄道が第一と私は思う。特にこれからは子どもたちが武蔵村山市に住んでよ

う。また、23年度より多摩都市モノレール基金積み立てを1千万円、10年で10億円の目標としている。市民も一日も早くモノレールが引けることを願っている。

可決した議案

第一回定例会

条例

給を改めるもの。

▼武蔵村山市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

軽自動車税の減免の対象となる軽自動車等の範囲を拡大するもの。

▼武蔵村山市立学習等共用施設設置条例の一部を改正する条例

図書館資料の貸出しを受けることができる者の範囲を拡大するもの。

▼武蔵村山市児童遊園条例の一部を改正する条例

児童の健全な遊びの用に供する施設の充実を図るため、新たに伊奈平三丁目児童遊園を設置するもの。

▼武蔵村山市国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金についての特例措置の終了に当たり、出産育児一時金の額を改めるもの。

▼武蔵村山市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の課税限度額及び国民健康保険税の減額に係る取扱いを改めるもの。

▼武蔵村山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

時間外勤務手当の算定方法及び行政職給料表(1)に定める最高の号



5月29日市内一斉クリーン作戦

予算

▼平成23年度武蔵村山市各会計予算

- (1) 一般会計
(2) 国民健康保険事業特別会計予算
(3) 下水道事業特別会計予算
(4) 介護保険特別会計予算
(5) 都市核地区土地区画整理事業特別会計予算

(6)後期高齢者医療特別会計予算

なお、詳細については、1面に掲載しています。

▼平成22年度武蔵村山市一般会計補正予算(第4号)
補正額2億5千785万円を追加し、歳入歳出予算の総額を262億5千684万6千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
補正額3億3千85万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を80億7千224万3千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
補正額4千611万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を14億8千67万7千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市介護保険特別会計補正予算(第3号)
補正額4億4千480万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を31億9千787万2千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市都市核地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
補正額2千587万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億7千661万9千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
補正額1千973万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億3千426万1千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市一般会計補正予算(第5号)
補正額1千18万円を追加し、歳入歳出予算の総額を262億6千702万6千円とするもの。

▼平成22年度武蔵村山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
262万5千円を繰越明許費とするもの。

道路

▼市道路線の認定について
一般市道B第186号線(学園三丁目45番地先から学園三丁目45番地先)を市道路線として認定するもの。

▼市道路線の認定について
一般市道C第137号線(伊奈平三丁目44番地先から伊奈平三丁目44番地先)を市道路線として認定するもの。

▼市道路線の認定について
一般市道D第257号線(中原三丁目2番地先から中原三丁目2番地先)を市道路線として認定するもの。

▼市道路線の廃止について
一般市道D第194号線(中原三丁目7番地先から中原三丁目2番地先)を市道路線として認定するもの。

専決処分

▼専決処分の報告について
○交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について
庁用車駐車場における事故に関し、市が支払うべき損害賠償の額(5万1千570円)を決定するもの。

人事

▼教育委員会委員の任命について
任期満了に伴い、後任の委員として持田浩志氏を選任するもの。

▼人権擁護委員の推薦について
任期満了に伴い、後任の委員として原田美智子氏を推薦するもの。

▼人権擁護委員の推薦について
任期満了に伴い、後任の委員として高橋真佐美氏を推薦するもの。

意見書

この定例会で、次のとおり意見書5件を可決し、関係機関へ提出しました。

▼尖閣諸島領海侵犯事件の不起訴処分に抗議し、万全の領域警備を求める意見書

▼民主党衆議院選挙マニフェストの早期の撤回・見直しを求める意見書

▼若者の雇用対策のさらなる充実を求める意見書

▼公共交通機関のバリアフリー化のさらなる推進を求める意見書

▼離島振興法の抜本改正及び総合的な離島振興策の推進を求める意見書

請願・陳情の審議結果

この定例会における請願・陳情の審議結果は、次のとおりです。

採択となったもの

◇建設環境委員会

▼主要市道第4号線、つむぎ保育園前に歩行者用信号機設置を求める請願

▼生ごみの減量に関する陳情

▼降雨による水害を防ぎ安心して生活するため雨水処理施設の建設決定を求める陳情

▼降雨による水害を防ぎ安心して生活するため雨水処理施設の建設決定を求める陳情

第一回臨時会

条例

▼武蔵村山市議会委員会条例の一部を改正する条例
議会運営委員会の定数を7人に改めるもの。

▼武蔵村山市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、東日本大震災に係る市民税の雑損控除額等の特例措置を定めるもの。

予算

▼平成23年度武蔵村山市一般会計補正予算(第1号)
補正額6千771万9千円を追加し、歳入歳出予算額を267億1千988万3千円とするもの。

専決処分

▼専決処分の承認を求めることについて
(1)平成22年度武蔵村山市一般会計補正予算(第6号)
平成22年度国民健康保険事業特別会計の歳入予算が不足することに伴い、緊急に予算措置を講ずるため、5千492万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、263億2千195万円とする専決処分の承認を求めるもの。

(2)平成22年度武蔵村山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
一般被保険者療養給付費に不足が生じたため、緊急に予算措置を講ずるため、8千321万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、81億5千546万2千円とする専決処分の承認を求めるもの。

(3)平成22年度武蔵村山市老人保健特別会計補正予算(第2号)
平成23年3月31日付で武蔵村山市老人保健特別会計を廃止することに伴い、清算のための予算措置を講ずるため、9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、703万8千円とする専決処分の承認を求めるもの。

▼専決処分の報告について
○交通事故による損害賠償額の決定について
庁用自動車の交通事故に関して、市が払うべき損害賠償額(13万8千306円)を決定するもの。

人事

▼監査委員の選任について
任期満了に伴い、田代芳久氏(議会選出)を選任するもの。

▼農業委員会委員のうち選任による委員の推薦について
委員に、川島利男氏、宮崎起志氏を推薦するもの。

その他

▼交通対策特別委員会の設置について
▼横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会の設置について



水辺の鴨

議員紹介

(5月1日改選)

<p>議席番号 5 木村 祐子</p>  <p>本町 1 - 6 - 3 ☎561-0164 市民のチカラ (1期)</p>	<p>議席番号 4 波多野 健</p>  <p>榎 3 - 16 - 1 ☎563-4339 新政会 (1期)</p>	<p>議席番号 3 比留間 朝幸</p>  <p>三ツ木 1 - 55 - 2 ☎560-6660 新政会 (1期)</p>	<p>議席番号 2 田口 和弘</p>  <p>神明 1 - 25 - 1 - 306 ☎561-9595 新政会 (1期)</p>	<p>議席番号 1 高山 晃一</p>  <p>三ツ木 3 - 2 - 37 ☎560-0519 新政会 (2期)</p>
<p>議席番号 10 藤野 茂</p>  <p>神明 3 - 119 - 1 ☎564-1736 新政会 (1期)</p>	<p>議席番号 9 田代 芳久</p>  <p>三ツ藤 3 - 7 - 8 ☎560-1245 新政会 (4期)</p>	<p>議席番号 8 波多野 征敏</p>  <p>中央 3 - 15 - 3 ☎564-7592 新政会 (4期)</p>	<p>議席番号 7 鈴木 明</p>  <p>中藤 5 - 13 - 1 ☎848-5488 民主党 (1期)</p>	<p>議席番号 6 須藤 博</p>  <p>学園 4 - 23 - 33 ☎564-3692 民主党 (3期)</p>
<p>議席番号 15 宮崎 起志</p>  <p>残堀 4 - 12 - 1 ☎560-1883 公明党 (7期)</p>	<p>議席番号 14 竹原 キヨミ</p>  <p>大南 2 - 47 - 36 ☎564-7765 日本共産党 (9期)</p>	<p>議席番号 13 内野 直樹</p>  <p>本町 2 - 122 - 1 ☎560-4022 日本共産党 (1期)</p>	<p>議席番号 12 靱山 敏夫</p>  <p>大南 3 - 122 - 4 ☎564-3276 日本共産党 (5期)</p>	<p>議席番号 11 川島 利男</p>  <p>岸 3 - 17 - 10 ☎560-3007 新政会 (3期)</p>
<p>議席番号 20 高橋 薫</p>  <p>残堀 5 - 56 - 48 ☎560-5132 公明党 (3期)</p>	<p>議席番号 19 吉田 篤</p>  <p>三ツ藤 3 - 44 - 13 ☎560-4345 公明党 (2期)</p>	<p>議席番号 18 沖野 清子</p>  <p>中藤 5 - 67 - 15 ☎565-5601 公明党 (2期)</p>	<p>議席番号 17 濱浦 雪代</p>  <p>大南 2 - 145 - 6 ☎565-8879 公明党 (4期)</p>	<p>議席番号 16 高橋 弘志</p>  <p>大南 1 - 134 - 41 ☎566-5518 公明党 (2期)</p>

議会の新しい役職・協議会委員等

先の市議会議員の改選に伴い、5月16日に開かれた第一回市議会臨時会において、議会の役職等が次のとおり決定いたしました。

市議会役職一覧

議長 波多野 征敏
副議長 濱浦 雪代

常任委員会等

総務文教委員会

○沖野 清子 ○藤野 茂
田口 和弘 比留間 朝幸
鈴木 明 竹原 キヨミ

厚生産業委員会

○高山 晃一 ○内野 直樹
波多野 健 木村 祐子
川島 利男 吉田 篤
高橋 薫

建設環境委員会

○榎山 敏夫 ○須藤 博
波多野 征敏 田代 芳久
宮崎 起志 高橋 弘志
議会運営委員会

議会運営委員会

○宮崎 起志 川島 利男
高山 晃一 木村 祐子
須藤 博 榎山 敏夫
沖野 清子

交通対策特別委員会

○高山 晃一 ○高橋 弘志
木村 祐子 鈴木 明
田代 芳久 藤野 茂
内野 直樹 竹原 キヨミ
濱浦 雪代 沖野 清子
横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会

調査特別委員会

○吉田 篤 ○波多野 健
田口 和弘 比留間 朝幸
木村 祐子 須藤 博
榎山 敏夫 内野 直樹
高橋 弘志 沖野 清子

法外委員会

会派代表者会議

○宮崎 起志 ○川島 利男
木村 祐子 須藤 博
榎山 敏夫

議会編集委員会

○高山 晃一 ○吉田 篤
波多野 健 木村 祐子
鈴木 明 内野 直樹
高橋 弘志

市議会情報公開審査会

○川島 利男 ○高橋 弘志
田口 和弘 波多野 健
木村 祐子 鈴木 明
内野 直樹 濱浦 雪代

市議会個人情報保護審査会

○沖野 清子 ○比留間 朝幸
高山 晃一 木村 祐子
鈴木 明 藤野 茂
竹原 キヨミ 吉田 篤

行政委員会

○は委員長（座長・会長）
○は副委員長（副座長・副会長）

監査委員

田代 芳久

農業委員会委員

川島 利男 宮崎 起志

一部事務組合

小平・村山・大和衛生組合議会議員
田口 和弘 木村 祐子
須藤 博 高橋 弘志
湖南衛生組合議会議員
竹原 キヨミ 吉田 篤
昭和病院組合議会議員
内野 直樹 沖野 清子
東京たま広域資源循環組合
波多野 健

瑞穂斎場組合議会議員

比留間 朝幸 藤野 茂
宮崎 起志

協議会委員等一覧

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

波多野 征敏 比留間 朝幸
鈴木 明 木村 祐子

東京都三多摩地区消防運営協議会

波多野 征敏

東京河川改修促進連盟

波多野 征敏

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

波多野 征敏 榎山 敏夫

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

波多野 征敏 榎山 敏夫

民生委員推薦会委員

須藤 博

青少年問題協議会委員

木村 祐子

土地開発公社評議員

川島 利男 田口 和弘
比留間 朝幸 木村 祐子
鈴木 明 藤野 茂
榎山 敏夫 内野 直樹
高橋 弘志 濱浦 雪代
吉田 篤

都市計画審議会委員

波多野 健 木村 祐子
須藤 博 川島 利男
竹原 キヨミ 濱浦 雪代
沖野 清子

国民健康保険運営協議会委員

鈴木 明 内野 直樹

議長の記事ピックアップ

（1月～5月）



議長 波多野 征敏

（4月30日までは比留間市郎前議長が出席）

↑1月 全国市議会議長会基地協議会正副会長・幹事・相談役会議

20日（木）東京都三多摩地区消防運営協議会 第二部会

↑2月 全国市議会議長会基地協議会第74回総会

9日（水）全国市議会議長会第90回評議員会

14日（月）東京都市議会議長会理事会・定例総会

17日（木）東京都市町村議会議員公務災害補償等協議会定例会

↑3月 東京都市議会議長会理事会・臨時総会

↑4月 東京都市議会議長会定例総会

↑5月 東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会

30日（月）三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会・総会

31日（火）東京都市議会議長会定例総会

編集後記

今年の3月に発生しました、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故により、被害に遭われ住み慣れた土地を離れなければならなくなった皆様へ、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、この4月の市議会議員改選に伴い、議会編集委員会の構成も大きく変わりました。委員一同、気持ちを新たに、市民の方に親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、皆様よりしくお願いいたします。

今回から議会だよりは、今までの白黒印刷から、二色刷り印刷の紙面となりました。議会編集委員会では皆様のご意見を伺いながら、必要に応じて紙面づくりを行いたいと考えております。お気づきの点がございましたら、ご遠慮なく議会編集委員会までお知らせください。

なお、市議会議員改選に伴いまして、改選前後で議会の構成・会派等が異なっておりますので、ご承知おきくださるようお願いいたします。

次の市議会定例会（平成23年第3回）は 9月上旬に開会の予定です。

▽傍聴はお気軽にご希望の方は、当日、議会事務局（市役所5階）へお申し出ください。

※車椅子での傍聴もできます（障害者用トイレも設置されています）。

※会議は、通常午前9時30分から始まります。

